

経営比較分析表（令和5年度決算）

千葉県

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	77.33	84.44	2,690	

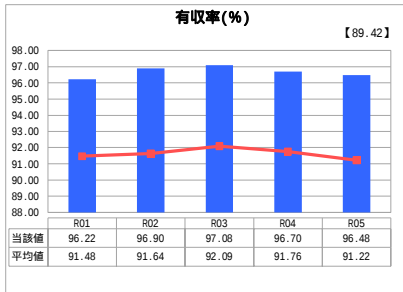
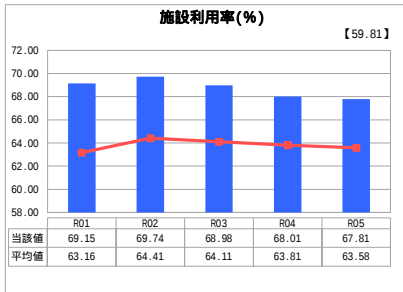
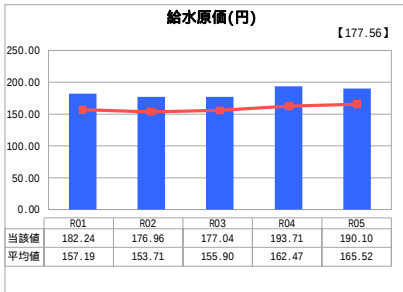
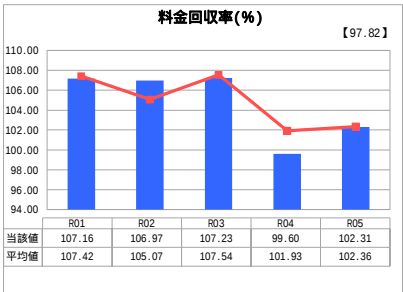
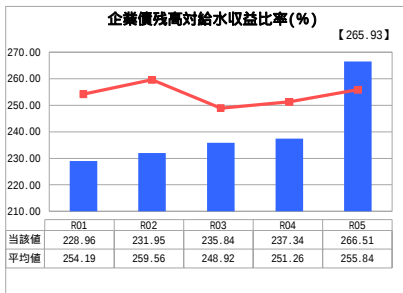
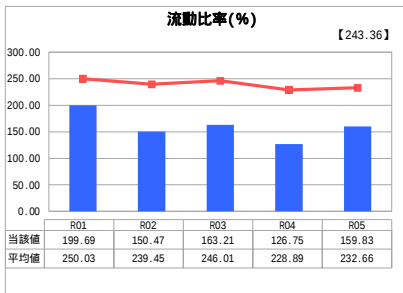
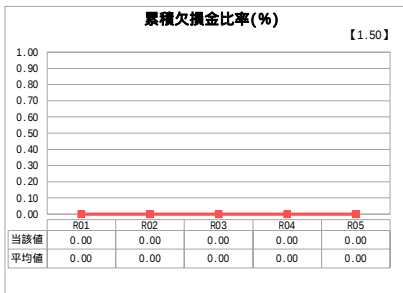
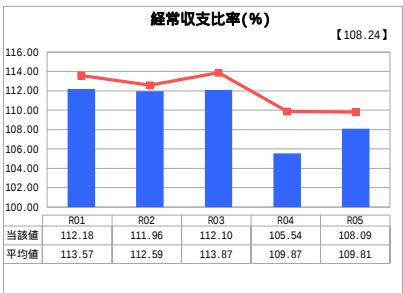
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,310,158	5,156.48	1,223.73
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
3,082,737	566.37	5,442.97

グラフ凡例

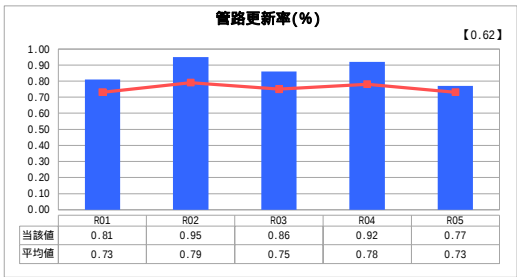
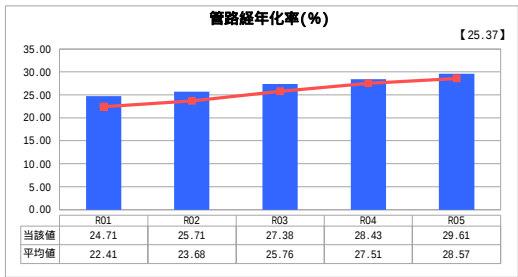
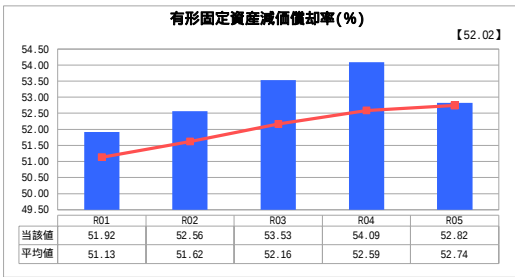
- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）

【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

「経常収支比率」は、100%以上を維持しているものの、近年は減少傾向にあります。

「流動比率」は、100%以上を維持しており、短期的な債務に対する支払い能力を有しています。

「企業債残高対給水収益比率」は、企業債残高の増等の影響により、類似団体平均値を上回りました。

「料金回収率」は、100%以上となり、給水収益で給水に係る費用を賄えています。

「給水原価」は、薬品費等は増加したものの、動力費等の減少により、前年度に比べ減少しました。

「施設利用率」及び「有収率」は、類似団体平均値を上回り、施設の効率的な運用を行っています。

2. 老朽化の状況について

「有形固定資産減価償却率」及び「管路経年化比率」は、類似団体と同様に上昇傾向にあり、施設の老朽化が進行しています。

「管路更新率」は、類似団体平均値を上回っており、比較的順調に管路更新を進めています。

全体総括

上水道事業の令和5年度決算については、企業向けの使用水量の増に伴う給水収益の増加や、電気料金単価の減に伴う動力費の減少などにより、経常収支比率は前年度に比べ増加したものの、近年は減少傾向にあります。

今後は、水道施設や管路の更新・耐震化に伴う減価償却費や企業債償還費の増加等により、経営状況が大変厳しくなると見込まれます。

今後、施設の更新等を着実に進め、安定して水を供給していくためには、健全な財政基礎の構築が不可欠であることから、令和8年度からの水道料金の値上げを想定しています。